



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03 3541 5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 女性総合診療部 平田 哲也

【研究責任者】

聖路加国際病院 女性総合診療部 平田哲也

当院で妊孕性温存療法を受けられた方を対象とした

免疫細胞の比率(Th1/Th2 細胞比)に関する研究

1.研究の対象

2019年1月から2022年8月までに当院で妊孕性温存療法(卵巣凍結、卵子凍結、受精卵凍結、精子凍結)を受けられた方のうち、当院の不妊外来通院中にTh1/Th2細胞比の検査を受けた方

2.研究の目的・方法

近年、着床不全の検査でTh1/Th2の細胞比を計測し、Th1優位である場合には免疫抑制剤を用いることによる妊娠成績の向上が報告されています。妊娠においてその細胞比はTh2優位であるほうがよいとされています。がん患者さんにおいて、がんの状態が寛解した場合は妊娠しづらいTh1/Th2細胞比(Th1優位)になっているとされています。よって、がん生殖医療を経験された患者にとってTh1/Th2細胞比は今後の妊娠を計画する上で重要な役割を示している検査となる可能性があると考えています。

そこで、本研究ではがん生殖医療を経験された方の免疫細胞の比率を調査することを目的としています。

なお、この調査では通常診療以外の医療行為はなく、診療録(カルテ)に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は、当法人研究機関の長による実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 末梢血中Th1・Th2の値とその細胞比、カルテID、年齢、既往歴、血液検査、血液生化学検査 等

《試料》 なし